



伊藤 文博  
議員  
新幹線開通に向けた  
糸魚川市の準備状況、  
態勢について

新幹線開通に向けた糸魚川市の準備状況、態勢について

活かすことができなければ転落の一途をたどることにもなりかねず、その準備が大変重要である。

新幹線開業は、世界ジオパーク認定と合わせ、100年、200年に一度の地域活性化のチャンスである。この機会を



池田 達夫  
議員  
並行在来線の  
問題について

並行在来線の問題について

市長答弁

えちごトキめき鉄道株式会社  
の経営基本計画(素案)における安全対策にはJRの運行時以上の対策が示されているが、今後も安全運行への配慮を要望していきたい。

今年2月に発表されたえちごトキめき鉄道の「経営基本計画(素案)」の安全対策や利用者への負担増について、市の対応方針を伺う。



JR糸魚川駅

質で安定的な経営が可能との方向性が示されているが、利用者の負担が少しでも減ることが望ましいと考えている。

あると思うが状況はどうか。新幹線駅舎1階部分の活用については、利用者の目線での計画が必要だが、観光協会との連携状況はどうか。

ジオパークについては日常的な観光客を増やすことが課題で、これはイベント等の企画力だけではなく、その土台となる観光地としての基礎的な部分を養う必要がある。どのように考えているか。

また、ソフト面では、青年会議所を中心とした取り組みなどは評価されるものの、市民がそういう魅力をよく理解し、「おもてなし」や「情報発

信」に力を発揮していけるようになるため、どのような取り組みを行っているか。

市長答弁

市内には、各課固有の事務のほか、全庁にまたがる大きな課題もあることから、職員全員が共通意識を持つて取り組みを進めていくことは重要と捉えている。市内連携については、市政運営会議や定例部課長会議のほか、必要に応じて調整会議や委員会を設置し取り組んでいる。

新幹線駅舎1階の部分については、観光情報の発信スぺー

デフレ不況対策と  
市内の経済状況について

質 問

市内の個人所得等の推移の状況はどうか。また、消費税の増税やTPP参加の場合、地域経済に与える影響をどう考えているか。

市長答弁

課税給与所得について、合併後の平成17年度と平成24年度を比較した場合、9パーセント減少している。消費税の増税については、駆

入での活用を計画しており、現在の観光案内所との調整を図っている。

ジオパークに関しては、市民一人ひとりがジオパークの担い手であり、来訪者から満足していただけるような受入態勢の整備を、観光関係者と連携しながら進めていく必要があると考えている。また、おもてなし講座やジオパークマスター講座などにより、市民のおもてなしの心の醸成や、情報の伝え方について、出前講座などで啓発を行っている。

け込み需要とその反動による消費落ち込みが懸念される。また、TPPについては、内容によつては地域経済、とりわけ農業への影響が懸念される。



《その他質問項目》

- ・子ども医療費助成、就学援助の拡充・拡大